

ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

教員氏名	鈴木 弘尚
主な担当科目	ピアノ
2025年の 教育目標・授業に 臨む姿勢	専任職の初年度として、あらゆることを学ぶことから始め、現在の主たる業務である実技レッスンのみならず、大学全般へと意識を向けて、積極的に教育に携わっていきたい。 学生にとって、目指す音楽の方向性を指し示す道標のような役割を果たすべく、レッスンにおいて常に「言葉による説明」と「実演による音」の両面からアプローチすることを心がけている。
2025年の教育に関 する自己評価	これまでの大学業務とはまったく異なる面が多々あり、他の先生方にご迷惑をおかけしないよう、あらゆることにアンテナを張り巡らせて、新しい業務や役目を学ぶように努力した。 レッスンにおいては、学生ごとに違う課題を抱えていることを念頭に、個々に合ったアドバイスとなるよう心がけた。また、学生自身の「考える力」を伸ばすよう、自己の解釈を必ず言葉にしてもらうスタイルを続け、一定の成果を出すことができた。
2025年のFD活動 に関する自己評価	大学全体へ意識を向けながら、毎回のFD研修に積極的に参加することができた。身近に起こり得るハラスメントから、さらなる勉強が必要と感じた内部統制まで、幅広く学ぶことができ、より良い教育を行っていくための意識改革や研鑽継続の必要性を再確認できた。
授業改善のために 取り入れた研修内容	昨今は様々な種類のハラスメントが言われているが、学生ファーストで常に考え、学生達が心地よく学ぶことのできる環境を作っていくことを意識して、レッスンや業務を行うよう心がけた。自分の意識していなかった種類のハラスメントには特に気をつけるよう努めた。

2025 年度(秋学期)「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード:3495 教員名:鈴木 弘尚

1)アンケート結果に対する所見

概ね学生達が満足しているようで、安心している。レッスンというものは、教員からの一方通行的なアドバイスではなく、教員と学生の双方の熱意あるやり取りによって、質の高いものになっていくと考えている。そのため、学生が興味や関心を持ってレッスンを受けてくれていることが、結果的に満足できるレッスンにつながっていると考ええる。

2)要望への対応・改善方策

レッスンにおいて、専門技術や表現力の指導はもちろんのこと、文化的背景や教養面を伝達することも大切にしている。その意味で、もっと多くの学生が文化・教養面の力を高められたと実感できるよう、工夫していきたい。

また、多種多様な表現の可能性を知ってもらうために、なるべく多くの場面でこちらが弾いて聴かせることを重要視しているため、そのアプローチを継続し、音楽の多様性を知ってもらえるようにしたい。

3)今後の課題

とにかく目に見える結果をすぐに追い求めがちだが、長い時間かけてようやく変わっていく部分のほうが多い分野であるため、学生達にその意識を持たせ、中長期的に取り組んでいくように心がけさせたい。

以 上